

報道関係各位

2010年8月11日

アーバンブレインとアイロンマウンテン、新 gTLD 申請者に対する支援プログラムの共同提供へ

インターネットプロバイダーの株式会社インターリンク(東京都豊島区、代表取締役:横山正、以下インターリンク)のグループ会社である、株式会社アーバンブレイン(東京都豊島区、代表取締役:才門功作、以下アーバンブレイン)と世界をリードする情報マネジメント会社であるアイロンマウンテン Inc.(NYSE:IRM)は、国内新 gTLD 申請者を対象にしたサービスを共同で提供することを発表しました。

世界のドメイン名システムを管理する非営利団体である ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) は、来年中にも新しい一般名称トップレベルドメイン(新 gTLD)を募集する予定だ。現在、22 の gTLD が運用されており、ICANN により監視されている。トップレベルドメインとは、インターネット上で利用されているドメイン名の一番右側にくる文字列で、「.com」や「.net」、「.org」などがその代表的なものとなる。今回の新 gTLD 募集では、「社名」や「都市名」などをはじめとし、多岐に渡るカテゴリーのトップレベルドメインが申請される予定で、数年後にはドメイン名のイノベーション的活用が行われることが予想される。

アイロンマウンテンは、現在ほとんどの既存 gTLD に対してエスクローサービスを提供しており、新 gTLD についても引き続きレジストリデータエスクローを提供する予定だ。今回の ICANN 新 gTLD 募集では、数百にのぼる申請が行われると考えられている。

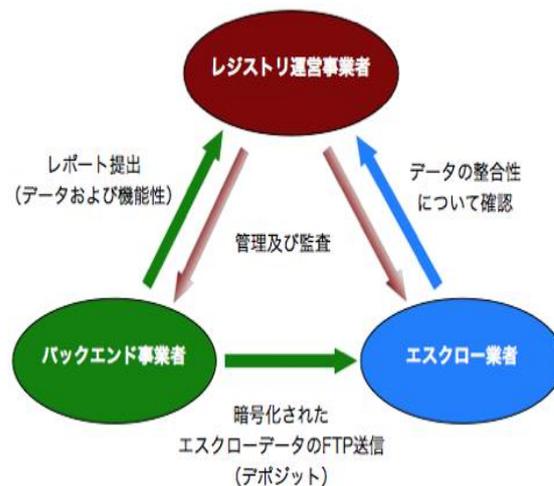
アーバンブレインの代表取締役である才門功作氏は、「新 gTLD は、ドメイン名市場に新たな競争を引き起こし、消費者はイノベーションの恩恵を享受することになるでしょう。」との意見を述べた。また、「しかし、新 gTLD 申請に当たっては、複雑な申請プロセスを全て理解する必要があり、また、実績のあるリスクのないレジストリ運営体制をとることが、企業にとって最も重要なことではないでしょうか？当社がアイロンマウンテン社と共同提供するサービスを採用頂くことで、業界で最も信頼されているプレミアエスクローサービスのご利用が可能となります。」と話した。

更に、アイロンマウンテンデジタル知的財産部門のヴァイス・プレジデントであるジョン・ボルーカ氏は、「アーバンブレインとアイロンマウンテンは、ICANN の新 gTLD プログラム導入に際し、新 gTLD 申請者に対して、新規ドメイン名の「戦略」「導入」および「保護」におけるそれぞれの分野でサービスを提供することが可能です。弊社の顧客をアーバンブレインに紹介できることは喜ばしいことであり、今回アーバンブレインに、当社のエスクローサービスにおける専門性およびマーケットリーダーシップを評価して頂いたことをうれしく思います。」と述べた。

今回締結された相互推薦プログラムでは、アイロンマウンテンは新 gTLD 申請予定者にレジストリサービス提供会社としてアーバンブレインを、アーバンブレインはデータエスクロー提供会社としてアイロンマウンテンをそれぞれ推薦し合うというものだ。

ICANN は全ての新 gTLD について、既存の gTLD と同様にデータエスクローの採用を義務づけている。これは、ドメイン名の登録に関するバックアップデータを第三者機関に預託するというもので、レジストリ運営者側に万が一障害が発生した場合でも、迅速な復旧作業を可能にするための対策となる。アイロンマウンテンは ICANN によりデータエスクローの導入が義務付けられた 2001 年に業界で最初にサービス提供を開始した企業であり、現在あらゆる分野の情報保護・マネージメント・保管におけるマーケットリーダーとして、世界で最も総合的で信頼性のあるドメイン名レジストリデータエスクローサービス提供会社といえるだろう。

アーバンブレインが運営する新 gTLD.com(<http://新gTLD.com/>)と同社ブログ(<http://urbanbrain.jp/ja/blog/>)は国内で最も人気のある新 gTLD 関連情報提供サイトであり、また、アイロンマウンテンが公開している What's Next for the New gTLDs? (<http://www.ironmountain.com/knowledge-center/intellectual-property/whats-next-for-the-new-gtlds.html>) は、新 gTLD 導入を考える企業にとっての指標となっている。



* 堅牢なセキュリティを誇る施設において、RAIDストレージおよびオフライン環境でのレジストリデータ保管。

●アーバンブレインについて

アーバンブレイン(<http://urbanbrain.jp/>)は、新 gTLD 申請者であるグローバルカンパニーや国際都市に対して、導入から運営までの総合的なサービスを提供しているコンサルティング会社。同社では「.SITE(ドットサイト)」トップレベルドメイン名の申請活動を行っている他、ワールドドメインカップ(<http://worlddomaincup.com/>)の優勝ドメイン名である「.earth(ドットアース)」のバックエンドサービスの提供を予定している。

●アイロンマウンテンデジタルについて

アイロンマウンテンデジタルは、「データ保護/リカバリー/アーカイブ」や「E ディスカバリー」「知的財産マネージメント」などの情報マネージメントサービスの分野で、世界をリードするグローバルカンパニー。同社の知的財産マネージメント情報(<http://www.ironmountain.com/jpm>)

●アイロンマウンテンについて

アイロンマウンテン Inc.(NYSE:IRM)は、企業のフィジカルおよびデジタルデータの管理運用について、コスト削減およびリクス減少、効率化向上のための情報マネージメントサービスを提供しているニューヨーク証券取引所上場企業。同社が提供しているソリューションは、企業の保有している情報の保護および有効的利用方法を、そのフォーマット、保管場所およびライフサイクルに限定されない形で提案している。ビジネスの最適化を計り、情報のリカバリー、コンプライアンスおよびディスカバリーを実現する同社のサービスは、世界中の 39ヶ国 12 万社に採用されている。(<http://ironmountain.com/>)

<本件に関するお問い合わせ>

info@urbanbrain.jp